

1(4) グランドデザインの策定

生徒の実態を基に、全教職員が関わり策定するグランドデザイン

こんな実践

グランドデザインの策定の際に、学習に関する項目について、研究主任が中心となり、全教職員の意見を集約し、資質・能力の育成を目指して、来年度の具体的な取組を決めだし、グランドデザインへ反映させていった実践です。

実践学校 B中学校
実践時期 2月上旬～

- グランドデザインの項目ごとに担当教員を決め、生徒の実態と全教職員に実施したアンケートを参考に、資質・能力の育成を目指し、本年度のグランドデザインを修正して、来年度の活動の重点を提案します。
- グランドデザインの学習項目については研究主任が中心となり、生徒の実態や全教職員の意見を取り入れながら、資質・能力の育成を目指して来年度の具体的な取組を決めだしていきました。


① 実態把握

生徒の学習の様子について、概念化シートを用いた現状把握を行うと、次の3点が課題であると見えてきました。

- a グループやペア活動の在り方
- b 学びを振り返る場面（見とどけ）の在り方
- c 宿題の質（家庭学習の充実）

そこで、この3点について、どのような実態があるのか、全教職員に右のようなアンケートを実施しました。

ここがポイント！

 教職員へのアンケート項目はどのように決められましたか？

- ✓ 生徒の課題につながる教師自身の取組に加え、資質・能力の育成に関わる項目を取り入れるようにしました。

学習の定着に向けた取り組みプロジェクト H30.1.29

今年度の授業や家庭学習の取り組みに関するアンケート

お名前 ()

1. グループやペア活動に関わって、次の点について教えてください。

① どれくらいグループ活動やペア活動を取り入れようとしていますか。

a. できるだけ毎時間、取り入れようとしている。
b. 数時間に1回は取り入れようとしている。
c. 取り入れようとしているができていない。
d. 全く取り入れていない。

② どのような学習場面で取り入れていらっしゃいますか？具体的に教えてください。

③ グループ活動やペア活動に取り組んでいる課題や困っている点を教えてください。

2. 学習の定着にかかわって、授業の終末の場面（『見とどけ』の観点）について教えてください。

① どれくらい『見とどけ』の場面を設定していますか。

a. できるだけ毎時間、行うようになっている。
b. 数時間に1回は行おうとしている。
c. 1単元の終末で行っている。
d. 1学期に1回行っている。
e. 全く行っていない。

② 『見とどけ』の場面では、どのようなことを大事にしていますか。

3. 宿題に関わって、次の点について教えてください。

① 家庭学習（宿題）を出す頻度と内容について

a. 毎日 [内容:])
b. 1週間に1回 [内容:])
c. テスト前のみ [内容:])
d. 出さない

② どのような力をつけるために、その宿題を出していますか。

それぞれの学年の状況を()内に書いてください。
1年()
2年()
3年()

② 生徒、教師の実態からの検討

教職員へ実施したアンケートを基に検討しました。そのアンケートから、「学びを振り返る場面」において、次の3点で学びの振り返りを行っていることが見えてきました。また、その学びを振り返る場面においても課題があることも見えてきました。

教師の取組	課題
<ul style="list-style-type: none"> ① 1時間、もしくは1単元で、つける力がついたか、振り返る。 ② 自分の取組、学びの過程を振り返る。 ③ まだわからない、新たな課題、次時へのつながりを振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返る時間が確保できない。 ・「振り返りを書いてください」「感想を書いてください」の一言で終わってしまう授業。

アンケート結果から、「学びを振り返る場面」において、視点を明確にして取り組もうとしているが、時間の確保ができなかったり、振り返る視点を生徒に伝えていなかったりという課題があることが分かりました。そこで、次の点を来年度の取組の重点として据えました。

【重点】 終末の3分を、毎時間確保する『B中の3分』

- どの授業でも終末の3分間、振り返りの時間を位置付け、ノートやカードに記入する。
- 資質・能力の3視点から教師が振り返りの視点を決めだし、生徒が学びを振り返ることができるようにする。

③ 検討結果をグランドデザインに反映する

プロジェクトチームで検討した具体的な取組を職員会議に提案し、意見をもらいます。そして、校長の指導により、来年度のグランドデザインに具体的に反映しました。

一部の教職員によって決めだした重点ではなく、生徒や教職員の実態、さらに全教職員の意見が反映された重点のため、全教職員で意識して取り組もうといった共通意識がうまれてきました。

1 学習

◎生徒に「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」をつける学習。

全校研究テーマ
「生徒が主体的にかわり合い、表現していくための授業の創造」

(1) 授業

- ①考えをまとめる時間と発表の場の保障
- ②目的意識を伴うグループ・ペア活動を取り入れ、協働して追究し、学び合う授業
- ◎授業の終末3分に学習内容の定着を図ったり学ぶ意欲を喚起したりするために振り返る「みとどけ」を大切に授業（『B中の3分』）
- ④P・C調査、NRTの分析を基にした全職員による指導の方向の再検討
- ⑤指導力向上に向けた職員一人一公開授業の実施
- ⑥教科研究グループによる授業づくりの研修

(2) 家庭学習

- ①基礎基本の定着を図ったり自分の課題に応じた内容に取り組んだりする家庭学習の工夫
- ②家庭学習の手引の活用や学習ガイダンスの実施



ここがポイント！

グランドデザインの策定に全教職員が関わっていくメリットはなんですか？

- ✓ 教職員同士がお互いの子供の見方や子供観、教育観を出し合って検討していくため、磨き合うことにつながっていきます。そして、全教職員で取り組もうという共通意識がうまれてきます。

まとめ

- ・多くの教職員は、グランドデザインの作成は一部の教職員や管理職により行われていると感じています。しかし、全教職員が関わる工夫をすることで、意見が反映されたグランドデザインをつくりあげることができます。
- ・資質・能力の育成を視野に入れた具体的な手立てをグランドデザインに反映させていきましょう。